

①中央地域核拠点

【拠点の範囲】

旭川市中心市街地活性化基本計画で設定された区域のうち、神楽地区を除いた範囲で、JR旭川駅を中心に発達した交通結節機能を生かし、旭川市役所をはじめとする、文化会館やときわ市民ホール、中央図書館、大成市民センター体育館、市民活動交流センターなどの公共施設のほか、様々な業務機能や医療機能、商業機能など高次の都市機能や集合住宅等の居住機能が集積する範囲。

【拠点の現状】

[交通]

- 旭川駅までの所要時間：～15分
- 路線バス：多数
- 都市間バス：多数
- JR：多数

⇒旭川駅や1条通を中心に、市内外問わず広域の公共交通結節点となっている。

[人口]

- 地域内人口：現在(H22) 29,337人 ⇒ 将来(H47) 20,535人
- 増減率(H47/H22)：70.0%
- 従業員人口(H26)：41,224人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：140.5%

⇒従業員人口が地域内人口を大幅に上回っており、市内外問わず広域的な業務地の中心となっている。

[機能]

※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

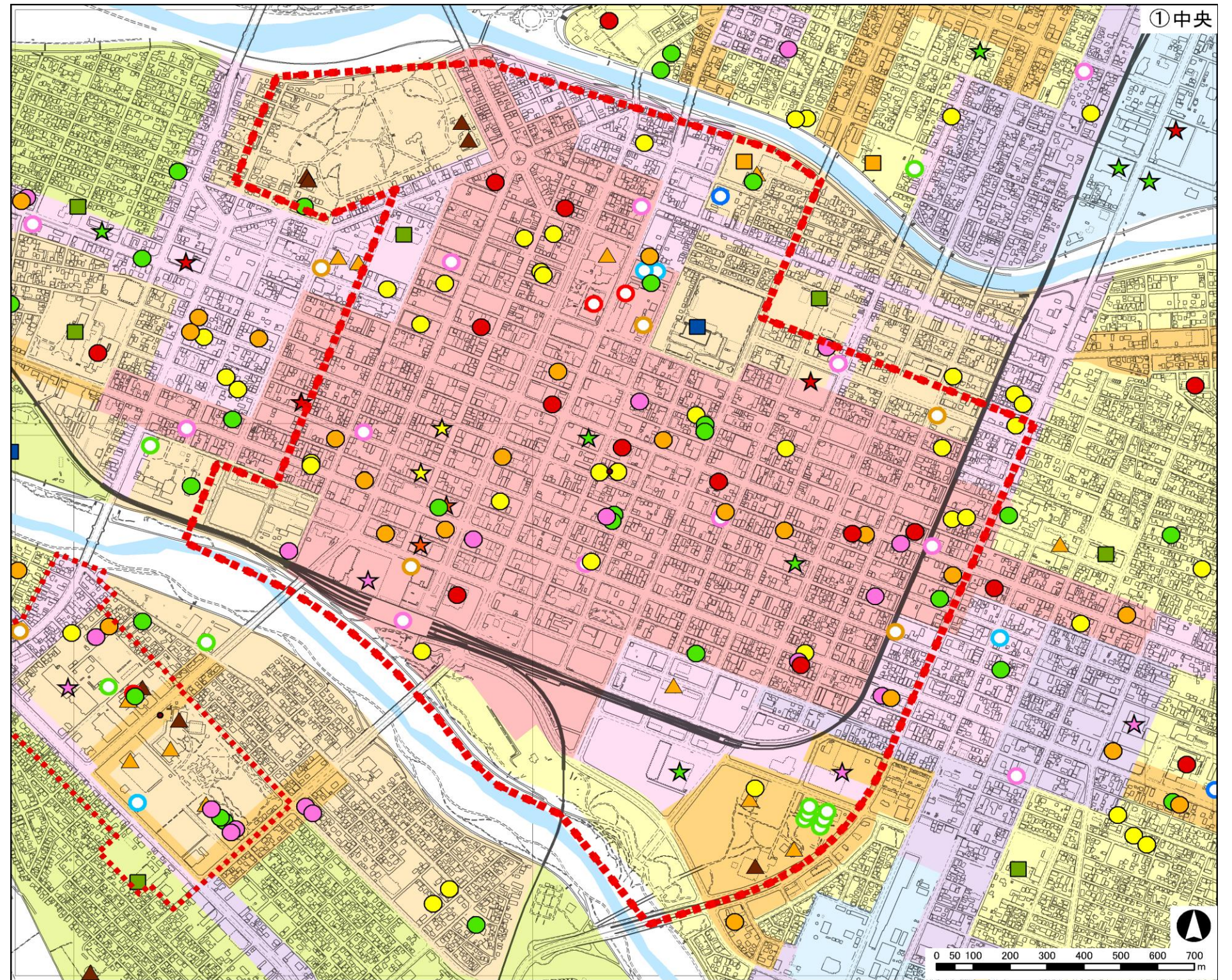
- 医療機能：病院○・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉○・障害者福祉○
- 子育て支援機能：保育所○
- 商業機能：スーパー○・百貨店○
- 行政機能：市窓口○・道・国窓口○・公民館/地区センター○
：警察署/交番○・消防署/出張所○
- 教育機能：小学校○・中学校○・高等学校○・大学/短大○
- 金融機能：郵便局○ ※サテライト機能
- 文化機能：図書館○・記念館/博物館○・美術館○

⇒日常生活に必要な都市機能が全て揃っており、大規模な商業施設や総合的な病院、文化施設など中心市街地にふさわしい高次機能が集積している。

【拠点の特徴】

高次都市機能が多数集積し、公共交通の総合的な結節点で、市内外問わず北海道の広域的な拠点となっている。

【区域分類】 ⇒ 中心市街地



凡例

医療機能

- 病院
- 診療所

介護福祉機能

- 高齢者福祉施設
- 障害者福祉施設

教育機能

- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 大学短大
- その他

商業機能

- ★ スーパー
- ★ 百貨店
- ★ 寄合百貨店
- ★ 専門店
- ★ スーパー・専門店

行政機能

- 市の窓口
- 道の窓口
- 国の窓口
- 警察署
- 消防署
- 公的集会施設

金融機能

- 郵便局

文化機能

- ▲ 文化施設
- 子育て支援機能
- 保育所
- 幼稚園等

用途地域

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

● 地域核拠点

②永山地域核拠点

【拠点の範囲】

J Aあさひかわ永山付近の交差点を中心とした徒歩圏内（半径500m程度）で、国道39号線沿道の商業地域・近隣商業地域・準工業地域を含む街区を基本とした、永山市民交流センターや上川総合振興局等の行政施設、JR永山駅、永山小学校・旭川大学等の教育施設などを含み、市営住宅や永山中中学校が隣接する範囲。

【拠点の現状】

【交通】

- 旭川駅までの所要時間：30～45分
 - 路線バス：11系統・運行103本・1時間当たり6.1本
 - 都市間バス：6系統・運行13本 ■ JR：1系統・運行38本
- ⇒旭川駅までの所要時間は長いですが、路線バスのほか都市間バスやJRなど交通手段が多様で地域交通の拠点である。

【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 55,629人 ⇒ 将来(H47) 38,140人
 - 増減率(H47/H22)：68.6%
 - 従業員人口(H26)：30,112人
 - 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：54.1%
- ⇒地域内人口が最も多いが、人口減少が比較的進む。流通団地や沿道型店舗など就業地が多く、昼間人口相当率も比較的高い。

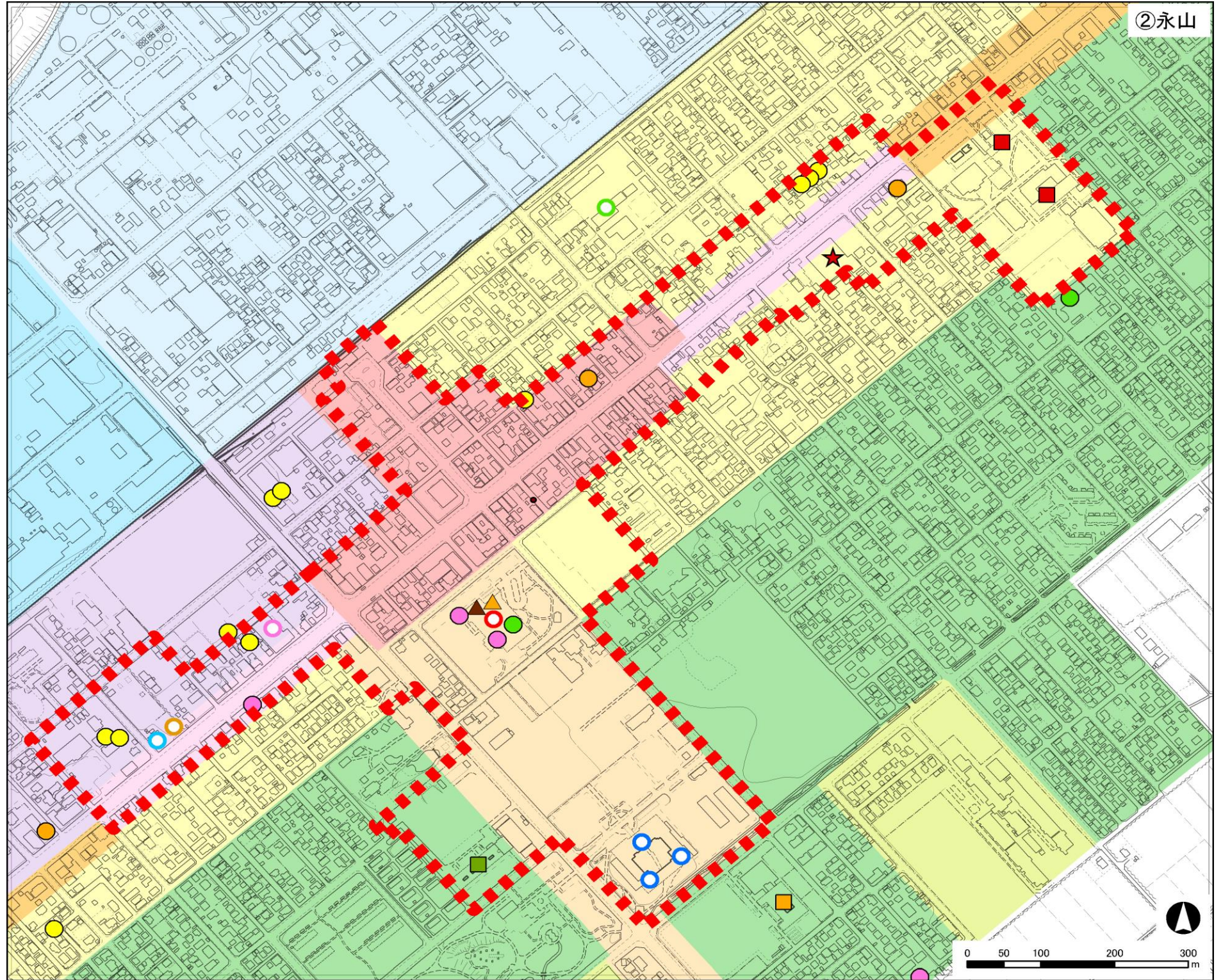
【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

- 医療機能：病院×・診療所○
 - 介護福祉機能：高齢者福祉○・障害者福祉○
 - 子育て支援機能：保育所等○
 - 商業機能：スーパー○・百貨店×
 - 行政機能：市窓口○・道・国窓口○・公民館/地区センター○
：警察署/交番○・消防署/出張所○
 - 教育機能：小学校○・中学校△・高等学校×・大学/短大○
 - 金融機能：郵便局○
 - 文化機能：図書館○・記念館/博物館×・美術館×
- ⇒日常生活に必要な都市機能が揃っているほか、大学などの高次機能も立地している。

【拠点の特徴】

中心市街地から離れているものの、合併以前からの旧市街地で、都市機能や公共交通が充実しており、周辺市街地や農村部の生活拠点及び地域コミュニティの拠点となっている。また、旭川大学等の高等教育研究施設や上川総合振興局など広域的な拠点機能も備えている。

【区域分類】 ⇒ **地域核拠点（一般市街地型）**



凡例

医療機能	教育機能	商業機能	行政機能	金融機能	用途地域
● 病院	■ 小学校	★ スーパー	○ 市の窓口	○ 郵便局	■ 第一種低層住居専用地域
● 診療所	■ 中学校	★ 百貨店	○ 道の窓口	△ 文化施設	■ 第二種低層住居専用地域
介護福祉機能	■ 高等学校	★ 寄合百貨店	○ 国の窓口	▲ 文化施設	■ 第一種中高層住居専用地域
○ 高齢者福祉施設	■ 大学短大	★ 専門店	○ 警察署	○ 子育て支援機能	■ 第二種中高層住居専用地域
○ 障害者福祉施設	■ その他	★ スーパー・専門店	○ 消防署	○ 保育所	■ 第一種住居地域
			▲ 公的集会施設	○ 幼稚園等	■ 第二種住居地域
					■ 準住居地域
					■ 近隣商業地域
					■ 商業地域
					■ 準工業地域
					■ 工業地域
					■ 工業専用地域
					■ 地域核拠点

③豊岡地域核拠点

【拠点の範囲】

豊岡4条2丁目のバス停付近を中心とした徒歩圏内（半径500m程度）で、4条通沿道の商業地域、近隣商業地域、準工業地域、準住居地域を基本とした、東部まちづくりセンターや東町小学校・光陽中学校・龍谷高校などを含み、市営住宅や旭川厚生病院などが隣接する範囲。

【拠点の現状】

【交通】

- 旭川駅までの所要時間：15～30分
- 路線バス：18系統・運行249本・1時間当たり14.6本
- 都市間バス：なし ■ JR：なし

⇒公共交通は路線バスのみであるが、系統数・運行本数とも非常に多く、地域交通の重要拠点となっている。

【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 25,716人 ⇒ 将来(H47) 16,774人
- 増減率(H47/H22)：65.2%
- 従業員人口(H26)：7,831人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：30.5%

⇒地域内人口が比較的多いが、拠点周辺には新興住宅地が少なく、人口減少は比較的進む。就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は他地域と比べ標準的である。

【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

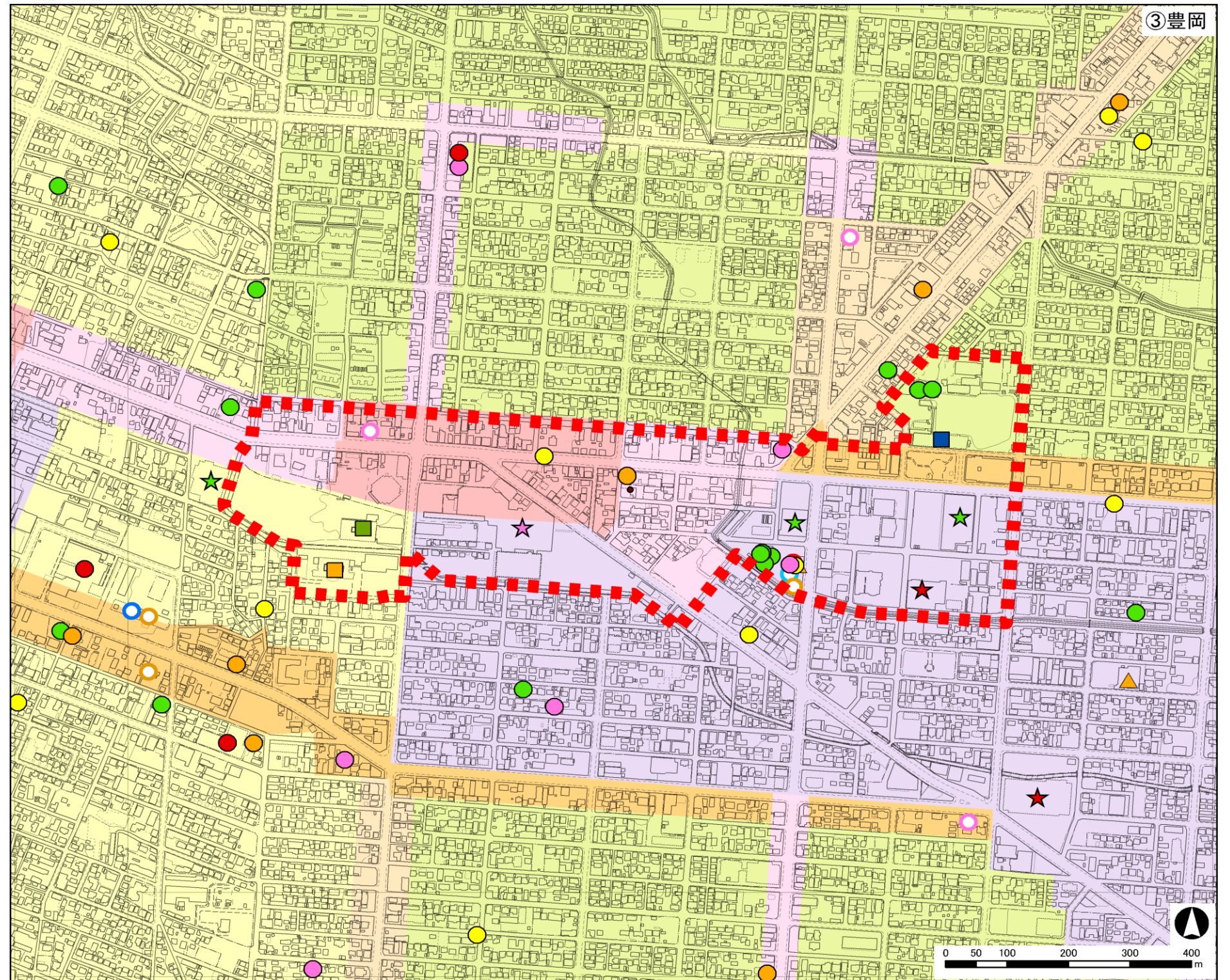
- 医療機能：病院△・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉○・障害者福祉○
- 子育て支援機能：保育所等○
- 商業機能：スーパー○・百貨店×
- 行政機能：市窓口○・道・国窓口×・公民館/地区センター○
：警察署/交番○・消防署/出張所○
- 教育機能：小学校○・中学校○・高等学校○・大学/短大×
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館×・記念館/博物館×・美術館×

⇒日常生活に必要な都市機能が揃っている。図書館等の文化機能がないうが、東地区体育センターが隣接していたり、東光の地域核拠点にある東光図書館が機能補完している。

【拠点の特徴】

中心市街地に比較的近く、都市機能が充実しているとともに、公共交通の結節点であることから、周辺の既成市街地の生活拠点となっているほか、隣接する東光・東旭川地域の生活拠点の一端を担っている。

【区域分類】 ⇒ 地域核拠点（一般市街地型）



凡例

- | | | | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------|----------|
| 医療機能 | 教育機能 | 商業機能 | 行政機能 | 金融機能 | 文化機能 | 用途地域 | |
| ● 病院 | ■ 小学校 | ★ スーパー | ○ 市の窓口 | ○ 郵便局 | ▲ 文化施設 | ■ 第一種低層住居専用地域 | ■ 近隣商業地域 |
| ● 診療所 | ■ 中学校 | ★ 百貨店 | ○ 道の窓口 | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | ■ 第二種低層住居専用地域 | ■ 商業地域 |
| | ■ 高等学校 | ★ 寄合百貨店 | ○ 国の窓口 | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | ■ 第一種中高層住居専用地域 | ■ 準工業地域 |
| 介護福祉機能 | ■ 大学短大 | ★ 専門店 | ○ 警察署 | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | ■ 第二種中高層住居専用地域 | ■ 工業地域 |
| ○ 高齢者福祉施設 | ■ その他 | ★ スーパー・専門店 | ○ 消防署 | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | ■ 第一種住居地域 | ■ 工業専用地域 |
| ○ 障害者福祉施設 | | | ▲ 公的集会施設 | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | ■ 第二種住居地域 | |
| | | | | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | ■ 準住居地域 | |
| | | | | ▲ 文化施設 | ▲ 文化施設 | | ■ 地域核拠点 |

④東光地域核拠点

【拠点の範囲】

東光公民館付近の交差点を中心とした徒歩圏内（半径500m程度）で、永山東光線沿道の近隣商業地域、南6条通沿道の準住居地域を含む街区を基本とした、東光公民館や東光図書館、千代田小学校・東光中学校、市営住宅などを含む範囲。

【拠点の現状】

【交通】

- 旭川駅までの所要時間：15～30分
- 路線バス：5系統・運行147本・1時間当たり8.6本
- 都市間バス：なし
- JR：なし

⇒旭川駅までの所要時間が比較的長く、公共交通も路線バスのみであるが、拠点を中心に運行本数は比較的充実している。

【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 50,408人 ⇒ 将来(H47) 40,517人
- 増減率(H47/H22)：80.4%
- 従業員人口(H26)：14,354人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：28.5%

⇒地域内人口が多く、市街地縁辺部に新興住宅地が広がり、人口減少は比較的進まない。就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は他地域と比べ標準的である。

【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

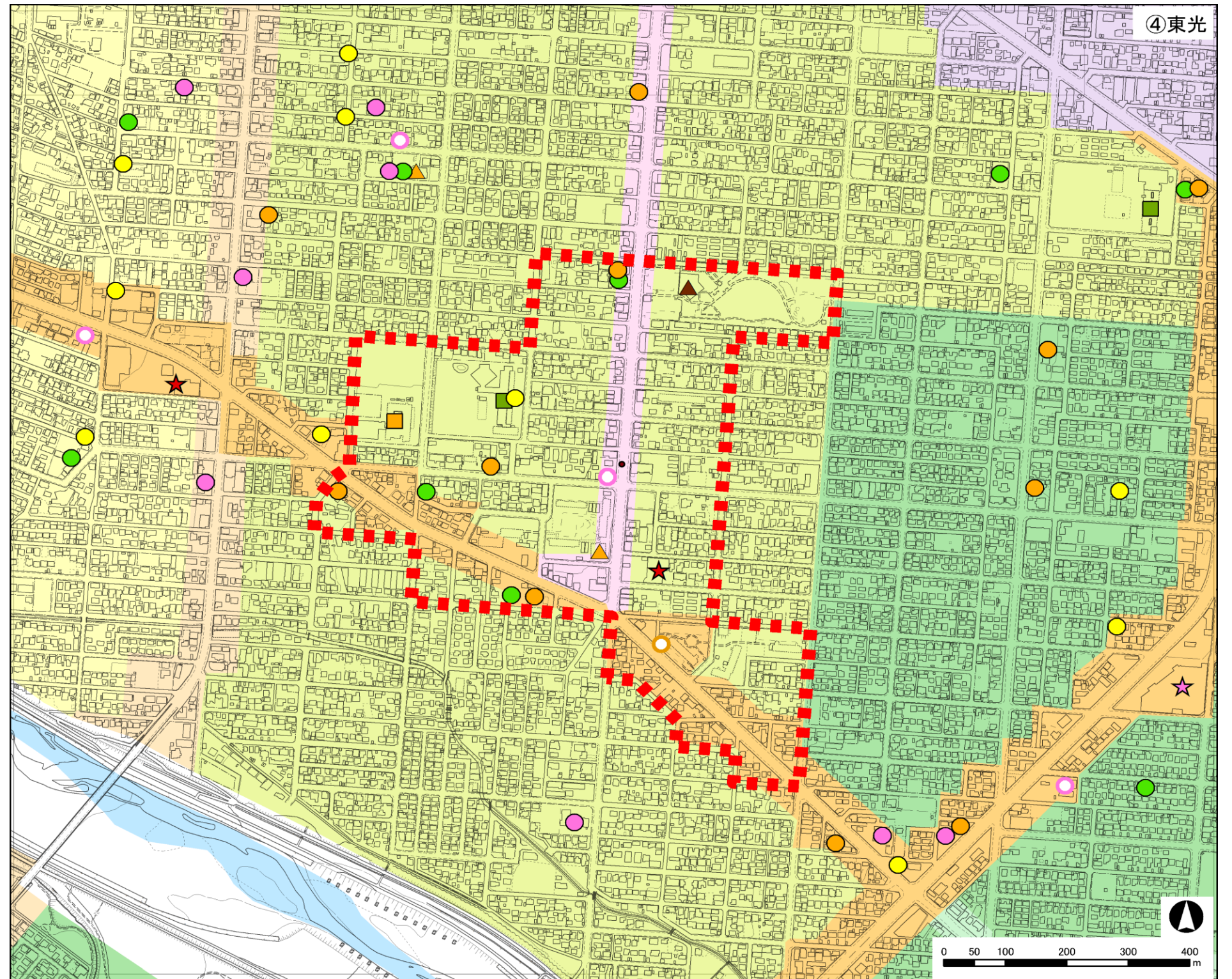
- 医療機能：病院×・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉△・障害者福祉○
- 子育て支援機能：保育所等○
- 商業機能：スーパー○・百貨店×
- 行政機能：市窓口×・道・国窓口×・公民館/地区センター○
：警察署/交番○・消防署/出張所×
- 教育機能：小学校○・中学校○・高等学校×・大学/短大×
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館○・記念館/博物館×・美術館×

⇒日常生活に必要な都市機能が揃っている。市窓口はないが、豊岡の地域核拠点にある東部まちづくりセンターが機能補完している。

【拠点の特徴】

都市機能や公共交通が充実しており、周辺の既成市街地や市街地縁辺部に広がる低層住宅地、市営住宅の生活拠点となっている。

【区域分類】 ⇒ 地域核拠点（一般市街地型）



凡例

医療機能

- 病院
- 診療所

介護福祉機能

- 高齢者福祉施設
- 障害者福祉施設

教育機能

- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 大学短大
- その他

商業機能

- ★ スーパー
- ★ 百貨店
- ★ 寄合百貨店
- ★ 専門店
- ★ スーパー・専門店

行政機能

- 市の窓口
- 道の窓口
- 国の窓口
- 警察署
- 消防署
- ▲ 公的集会施設

金融機能

- 郵便局

文化機能

- ▲ 文化施設

子育て支援機能

- 保育所
- 幼稚園等

用途地域

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域
- 地域核拠点

⑤東旭川地域核拠点

【拠点の範囲】

屯田公園付近の交差点を中心とした徒歩圏内（半径300m程度）で、神居旭山通沿道の商業地域・近隣商業地域、東旭川駅前通沿道の近隣商業地域・準住居地域を含む街区を基本とした、東旭川支所や東部老人福祉センター、旭川小・中学校、兵村記念館、市営住宅などを含み、JR東旭川駅や公民館が隣接する範囲。

【拠点の現状】

【交通】

- 旭川駅までの所要時間：30～45分
- 路線バス：5系統・運行68本・1時間当たり4.0本
- 都市間バス：なし
- JR：1系統・22本

⇒旭川駅までの所要時間が長く、路線バスの運行本数はあまり多くないが、JRやデマンド交通など多様な移動手段が整っている。

【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 14,291人 ⇒ 将来(H47) 11,663人
- 増減率(H47/H22)：81.6%
- 従業員人口(H26)：7,434人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：52.0%

⇒地域内人口が比較的少ないが、工業団地等があり、就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は比較的高い。新興住宅地もあり、人口減少は比較的進まない。

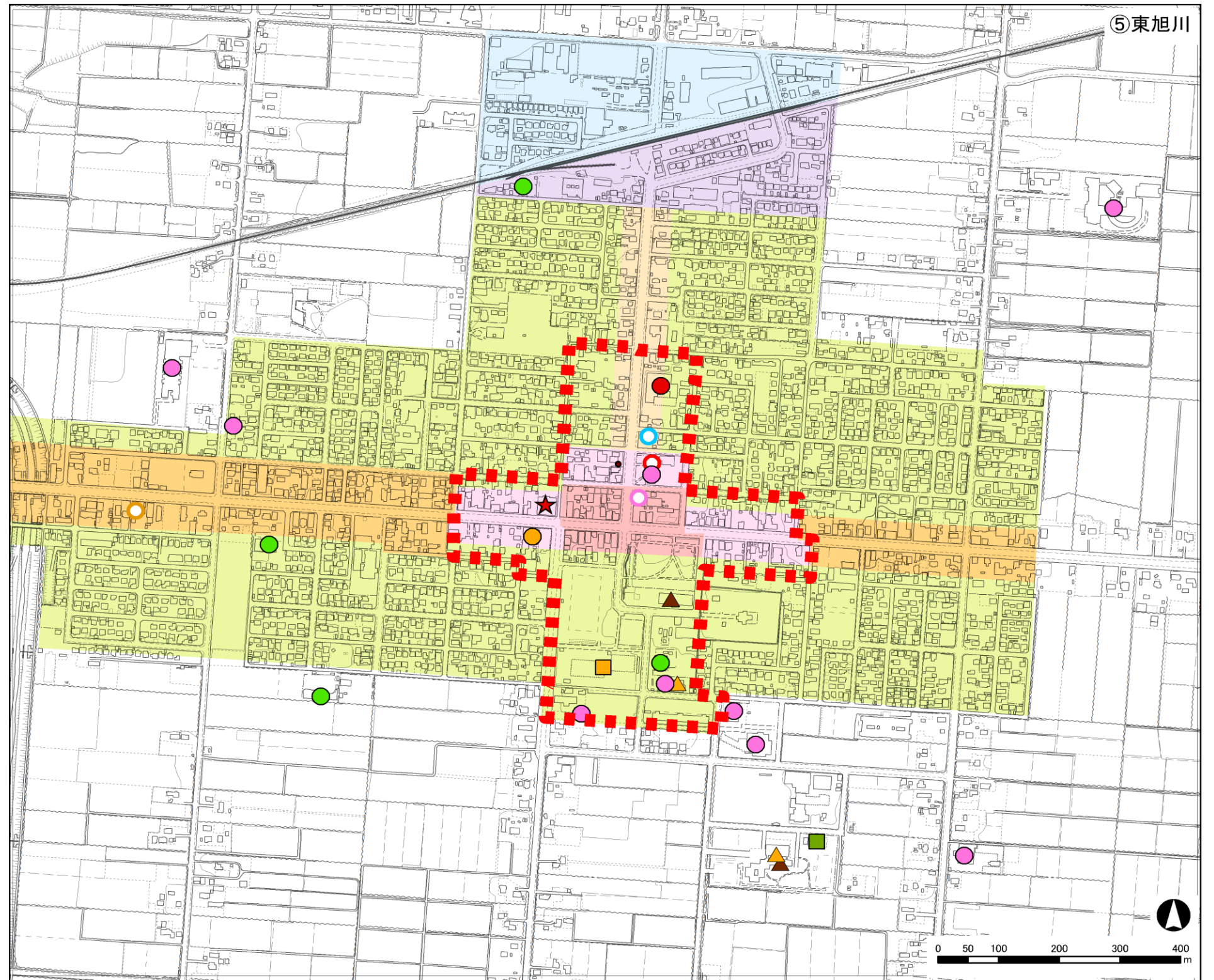
【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

- 医療機能：病院○・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉○・障害者福祉×
- 子育て支援機能：保育所等○
- 商業機能：スーパー○・百貨店×
- 行政機能：市窓口○・道・国窓口×・公民館/地区センター○
：警察署/交番△・消防署/出張所○
- 教育機能：小学校○・中学校○・高等学校×・大学/短大×
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館△・記念館/博物館○・美術館×

⇒日常生活に必要な都市機能が揃っているが、障害者福祉施設が立地していない。公民館など拠点から少し離れた位置に公共施設や高齢者福祉施設が立地している。

中心市街地から離れているものの、合併以前からの旧市街地で、都市機能や公共交通が整っており、周辺の既成市街地や農村部の生活拠点及び地域コミュニティの拠点となっている。

【区域分類】 ⇒ 地域核拠点（一般市街地型）



凡例

医療機能 ● 病院 ● 診療所	教育機能 ● 小学校 ● 中学校 ● 高等学校 ● 大学短大 ● その他	商業機能 ★ スーパー ★ 百貨店 ★ 寄合百貨店 ★ 専門店 ☆ スーパー・専門店	行政機能 ○ 市の窓口 ○ 道の窓口 ○ 国の窓口 ○ 警察署 ○ 消防署 ▲ 公的集会施設	金融機能 ○ 郵便局	文化機能 ▲ 文化施設	子育て支援機能 ● 保育所 ● 幼稚園等	用途地域 ■ 第一種低層住居専用地域 ■ 第二種低層住居専用地域 ■ 第一種中高層住居専用地域 ■ 第二種中高層住居専用地域 ■ 第一種住居地域 ■ 第二種住居地域 ■ 準住居地域	■ 近隣商業地域 ■ 商業地域 ■ 準工業地域 ■ 工業地域 ■ 工業専用地域
------------------------------	------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

■ 地域核拠点